

令和3年11月17日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長  
森田 洋一 様

議会報告会 1班(総務委員会)

班 長 野村 誠  
西尾 段  
坂巻 儀一  
植田 和子  
加藤 啓子  
森 亮二

私の班は議会報告会を開催し、その概要は下記のとおりでしたので、ご報告します。

記

- 1 日時 令和3年11月13日(土)午前9時30分～午前11時30分
- 2 場所 北部公民館 大会議室
- 3 欠席議員 海老原 功一
- 4 来場者数 市民来場者6人、議員・職員3人、計9人
- 5 報告内容
  - (1)令和2年度決算審査について
  - (2)新型コロナウイルス感染症対策について

## 6 意見交換内容 別紙のとおり

## 7 参加者から議会への要望 別紙のとおり

## 8 所感

コロナ禍の影響で約1年半ぶりの議会報告会の開催となりましたが、今回の班編成は常任委員会ごとになったことにより、テーマ選定が決めやすい、班として集まりやすい、活発な意見交換ができたなどメリットがあったと思います。一方で参加人数が少ない、いつも参加する方、常連方が多いなどの課題もありました。市民の感心、興味のあるテーマ選定、事前の周知などもさらに工夫が必要と感じました。(野村 誠)

1年半ぶりに議会報告会を開催出来たことを嬉しく感じています。また、新型コロナウイルス感染症が落ち着きをみせている中、外出などの予定があった方々も多くおられた方かと思いますが、参加を頂きましたことに感謝申し上げます。コロナ禍を通じてオンラインでやりとりをする環境も根付いてきましたが、一堂に会する議会報告会は市民の方々の思い、市政課題への指摘が他の参加者にも「見える化」されますので、オンラインとは違ったメリットもあると思います。今後もハイブリッド形式で、続けていきたいものです。(森 亮二)

新型コロナウイルス感染症が急激に減少したとは言え未だ予断を許さない現況においては、各議員とも平常時のようには議会報告会への積極的な参加呼び掛けは控えられたのかもしれませんが。それ故か今回の市民参加者は少数でありました。しかしながら参加者ほぼ全員から活発な意見が飛び交い闊達なコミュニケーションが図られたのではないのでしょうか。既に我々議員が展開してきた質問や要望に対し、この先の検討事項と答弁された案件であっても市民にとってはやはり切実で大事な意見や要望が多く聞かれ、それらの貴重な声を再度市政に届けなければいけないと痛感致しました。(坂巻 儀一)

コロナの影響で中止が続き、今回も中止になるかもしれないと思っていましたが、2年ぶりにやっと議会報告会を開催することができました。久しぶりということもあって、市民の方の参加は少人数となってしまいましたが、多岐にわたる内容で、市民の方からご意見をたくさん出していただき、

内容の濃い意見交換ができたと思っています。この2年、コロナ対策中心となっていました。コロナ前に課題となっていた案件の取り組みも並行して続けていかなければいけないと初心を思い出させていただきました。市民の方と直接意見交換をする場合は、やはり必要だとあらためて認識しました。

(植田 和子)

一年半以上開催出来ていなかった議会報告会が開催できて良かったです。議員になってから7年目、毎年2回ずつ、10回以上の議会報告会を実施してきましたが、今回は特に市民の皆さんとのキャッチボールが上手く出来た議会報告会だったと感じます。市民の皆さんのご質問が、個人的な課題や一方的な主張ではなく、地域や流山市全体に関わる事の質問や要望が多かった事と、一方的な主張をすすめるのではなく、共に考えて共に良くしていこうという考えが見て取れました。非常に有意義な時間でした。即答できなかった質問や要望に対して、引き続き取り組んで参ります。

(西尾 段)

市政に関心がある市民の参加があり、活発な意見交換となりました。市民のおっしゃる話をもっともなことが多く、私たち議員も市に要望していることも多く意見として出されました。執行部のように予算付けができ、すぐに返答ができない議会報告会ですが、市民のみなさんのご意見を踏まえ市に要望を伝えていけるよう今後も精進していきたいと思えます。久しぶりの開催で身が引き締まる思いであり、リモート会議が多い中、顔を見ての意見交換はやはり意義があると改めて感じました。

(加藤 啓子)

## 議会報告会意見交換内容及び市民の要望等

## 決算審査についての意見交換

## Q.参加者(東深井)

- ① 災害の際の外国人への対応は？
- ② Jアラートなどのミサイルに対する訓練は？
- ③ 子ども手当が世帯主の年収で決まっているが、共働きの場合抜け道になっていることをどう思うか？

## A.議員

- ① 安心メールや内容がわかるフリーダイヤルで対応している。せめて英語くらいは対応できるように議会でも取り上げていきたい。
- ② 防衛省がやったことはあるが地方自治体では地域の防災訓練以外は、今のところ訓練計画はない。
- ③ 必要な人に手当が行き届くような工夫は必要なので、国にも問題提起していけるようにはしたい。

## Q.参加者(松ヶ丘)

老朽化した学校の建て替え計画を議会も取り上げていないが、どうなっているか？

## A.議員

議会でも何度も取り上げているが、人口増による新設校が喫緊の課題なので、遅れているが必要なことは認識している。

## Q.参加者(南)

- ① 保健センターと保健所を東洋学園の跡地につくるべき。
- ② 自転車が多くなっていて、自転車保険の加入を促すために保険に入っている人は駐輪場の割引などをしてみたらどうか
- ③ 運河の利根運河交流館に後藤純男美術館の分室を作る協議会をつくっていただきたい。

## A.議員

- ① 保健所は県の管轄。保健センターの建て替え等については議会でも要望事項にいれている。
- ② 必要であると認識している。
- ③ いいアイデアではあるがすぐに予算はつけられないし、利根運河交流館は国の持ち物。利根運河活性化協議会でもいろいろな検討はしている。

## Q.参加者(東深井)

決算書が読みにくい。バランスシートなども入れてもっと工夫した方がいい。

## A.議員

現在財政部は総務省方式の財務諸表は公表している。またペーパーレス化については議会からも提案している。

## コロナについての意見交換

### Q.参加者(東深井)

① コロナで収入減や障がい者のところには、職員が出向いて現状を把握してほしい。

### A.議員

職員も足を運んでいるが職員が少なくなっているので、商工会議所やケアマネージャー、民生委員などと連携をとって把握に務めている。

### Q.参加者(東深井)

行政防災無線が聞こえないのでコミュニティ FM などを作り流したらどうか。

### A.議員

ラジオの周波数の空きがないとタウンミーティングで答えていたが、検討してみるとの話を聞いている。

他の市民より、静岡市では朝晩防災のラジオが流れるので、子どもたちもみんな防災グッズの名前も知っている。との紹介有り。

### Q.参加者(南)

① テナント支援協力金は80%じゃなく50%では？

② 国民健康保険の通知が世帯ごとだったのに個人ごとになった。紙の無駄では？もっとデジタル化が必要。

### A.議員

① 80%で正しい。

② 逆に夫に妻の受診内容がわかってしまうことが問題になっているケースもある。タブレット端末の普及なども含め議会でも取り組んで行く予定。

### Q.参加者(東深井)

コロナで休んだ店の店員を別の会社でアルバイトさせるとかの応援協力ができるような体制も必要ではないか。お金の流されない生活や意識の醸成も必要。

### A.議員

意見として承る。

### Q.参加者(松ヶ丘)

① 東小はコロナになって23人が不登校。もっと人的配置が必要

② 学校の先生が清掃業務までしており大変。清掃業者を入れた方がいいのでは？

### A.議員

不登校については個別の対応が必要であると考え。週1回くらいくるカウンセラーに心を開くかというところでもないで、もっと意見を聞ける大人が周りにいる環境を作ることが大切である。

## その他市政全般に対する意見交換

### Q.参加者

- ① 道路の予算が余っているときは、頼むとすぐ対応してくれるのでありがたい。
- ② ひとり親家庭の申請等に彼氏がいるのでは？などのパワハラ的質問が他市でなされていたが流山市はどうか？
- ③ 部活のユニフォーム代などが大変な家庭が多いが、その手当は？

### A.議員

- ① 道路管理課の対応が早く感謝の連絡が多い。計画どおり進められない場合は次年度の予算に繰り越すことになる。
- ② 流山市でもそういうことがあったので議会で質問し是正した。
- ③ 確かに野球部などは10万円くらいかかる。学校によっては引退した人のお下がりをもたらしたりする機会を作っている。

### Q.参加者(東深井)

- ① TX の運転士が1人なのは災害対等としても良くないので、2人体制を市としても要望してほしい。
- ② DMO について説明してほしい。

### A.議員

- ① 安全対策強化については各企業で取り組んでいる。市議会でもホームドアの設置などを要望していった経緯がある。
- ② 観光庁が進める観光地域づくり法人。地域の資源をいかして観光収入を得られることを目的としている。民間が半分、市が半分の2500万円を出して、地域経済が稼げる仕組みを市ができないことを株式会社で取り組むこととなった。まだ立ち上がったばかりなので見守っていただきたい。